取扱説明書 保存用 【防雨型】ポール灯、庭園灯

◎器具の設置施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店にご相談ください。
工事店様へ、この説明書は保守の為お客様にかならずお渡しください。

安全に関する ⚠警告

●この器具は防雨型器具です。
横方向や下方向から水の当る場所や湿気の多い場所、また海岸より2000m以内の塩害地域や、腐食性ガスの影響を受ける場所、水の溜まる場所では使用しなでください。
→火災・落下・感電の原因となります。

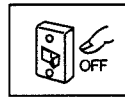
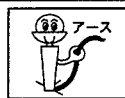
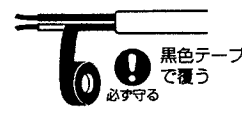
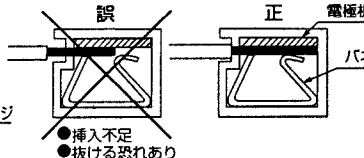
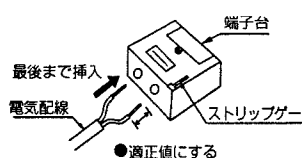
●この器具は周囲温度5～35℃の範囲でご使用ください。
→それ以外の環境でご使用になると火災・落下または器具の変形、ランプの短寿命の原因となります。

●電源電圧は必ず定格電圧でご使用ください。
→過電圧を加えると発熱し、火災の原因となります。

●D種接地工事を必ず行ってください。
→火災・感電の原因となります。

●ランプが点灯しない場合、使用中に不点になった場合、またはその他の異常を感じた場合は、直ちに電源を切ってください。
→火災の危険性がありますので電気工事店にご相談ください。

●器具に指定された取付け方向、点灯方向を守ってください。
→火災・落下・感電の原因となります。

●器具の改造、部品の交換をしないでください。
→火災・落下・感電の原因となります。

●ポリエチレン系絶縁体を使用したEM（エコマテリアル）ケーブルをご使用される場合には、端末部付近の絶縁体露出部には、黒テープなどで覆い保護を施してください。
（ただし、タイシガイセンEM-EEFは除く）
→感電・火災の原因となります。

●電気配線は端子台のストリップゲージに合わせて適切な寸法で被覆をはぎ取り、それぞれの線芯を平行にそろえ、端子台の挿入口に最後まで押し込んで下さい。
→不十分ですと、焼損・漏電・感電・不点灯の原因となります。

安全に関する ⚠警告

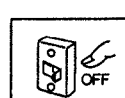
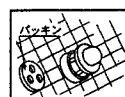
●ランプが切れたまま、または、ランプを外したままで使用しないでください。
→感電や発熱による火災の原因となります。

●トランス・安定器内蔵器具は調光器との併用をしないでください。
→火災またはランプ短寿命の原因になります。

●ランプ点灯中、及び消灯直後は器具やランプに触れないでください。
→高温の為、火傷の原因となります。

●付属の防水パッキンは必ずご使用ください。
→不足すると火災・漏電・感電の原因となります。

●器具の一部が破損したまま使用しないでください。
→落下・怪我の原因となります。

●ランプ交換時は、電源を切ってください。
→通電したままでランプを取り付けすると感電・火傷・接触不良によるソケットの劣化の原因となります。

ご使用上の注意

●蛍光ランプ使用器具は、流れ込む外気の影響で温度変化の激しい場所では使用しないでください。照度低下を生じる場合があります。
●蛍光ランプ使用器具は、ランプに風が連続的にあたるような環境（例えば、空調の吸排気の影響を受ける環境）では使用しないでください。照度低下や水銀の凝集・斑点を生じます。また、コンパクト蛍光灯は点灯してから明るくなるまで少し時間がかかりますが、異常ではありません。
●器具に傷がついたまま長期間ご使用になりますと錆が流れ出る場合があります。
→定期的に点検補修してください。
●インバータ式安定器を内蔵する器具を使用される場合は、インバータ対応用の高周波対応型ブレーカーをご使用ください。
→未対応のブレーカーの場合、不要動作によりブレーカーが遮断される場合があります。

共通事項

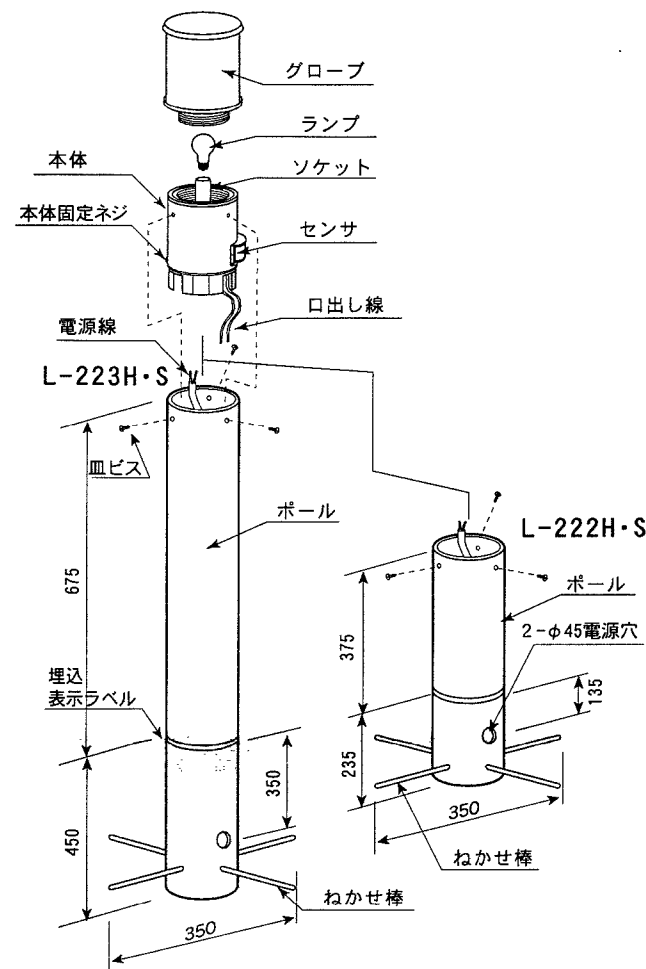
●製品は正しいご使用での保証期限を、ご使用開始後1年と定めております。
ただし、ランプ・パッキンなどの消耗品は除外します。
●製品は予告なく仕様を変更することがあります。

人・光・未来形　**株式会社 遠藤照明**

SEA708-6-1

◆各部の名称 この図は一部省略抽象した共通部品図です。

■ポール取付タイプ
EL-4824H・S，EL-4825H・S，
EL-4826H・S，EL-4827H・S，
EL-4828H・S

■ポール　L-222H・S，L-223H・S，

◆適合ランプ（球付）

品　番	使用ランプ
EL-4824H・S EL-4825H・S EL-4826H・S EL-4827H・S EL-4828H・S	S35フロストクリプトン球 110V　40W×1　E17

⚠ 適合ランプ以外のランプは絶対に使用しないでください。
火災・器具故障の原因となります。

⚠ ランプ交換時は電源を切ってください。
感電の原因となります。

⚠ 3年以上お使いいただいた器具配線は、安全の為1年ごとに点検し、異常があれば交換してください。

◆取付方法

※壁スイッチを必ず設けてください。壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切替えることができません。
※配線工事は必ずD種接地工事を施してください。

⚠ 火災・感電の原因となります。

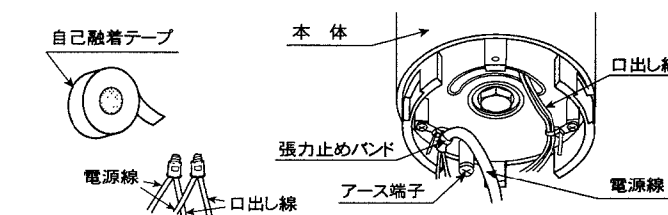
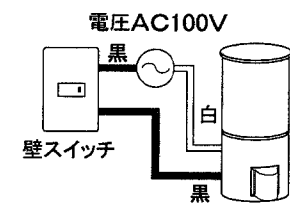
1. 器具重量に耐える様、地面の取付部を確保してください。

⚠ 強度不足ですと、転倒の原因となります。

※花壇など地面のやわらかい所ではコンクリートの基礎を作成することをおすすめします。

2. 安全確保の為、電源ブレーカー及び電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

3. ポールの電源穴より電源線を引き込んでください。
4. ポール下部の挿入穴にねかせ棒を挿入してください。
5. ポールを埋込表示ラベルがかくれるまで埋込んでください。
6. 電源線を口出し線と結線してください。結線部は自己融着テープ等により確実に絶縁処理を行ってください。結線後、張力止めバンドで本体に固定してください。
同時にアース線を接続してください。（D種接地工事）

※壁スイッチは必ず併設してご使用ください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

7. 本体をポールに落とし込んで、皿ビスで確実に固定してください。
8. ランプを「ソケット」に確実に取付けてください。

⚠ ガラス管を強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。ていねいに扱ってください。

⚠ 点灯中や、消灯直後(消灯後20分まで)にランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。

9. 本体にグローブをねじ込んでください。

⚠ 取付けに不備がありますと浸水による、感電、火災の原因になります。

※次頁の人感センサの設定の項目を必ずお読みください。

■清掃方法について　⚠ 注意　必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

●中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
●シンナーやベンジンなど揮発性のものまたは酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

・電源工事が必要な場合は、電器工事店に依頼してください。
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問い合せください。

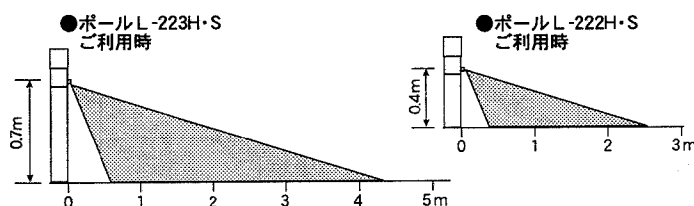
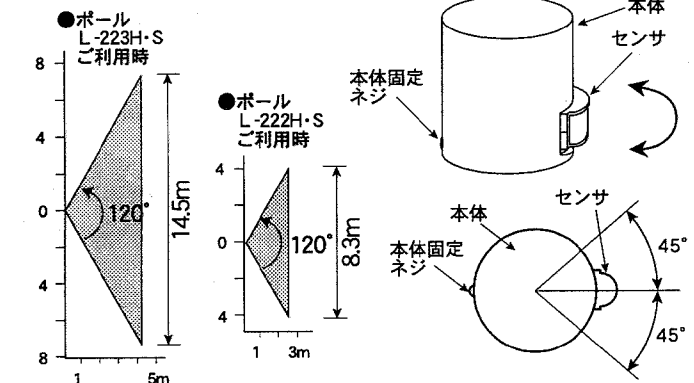
EL4824H-T

◆感知エリア

■垂直感知エリア

■水平感知エリア

●ポール
L-223H・S
ご利用時

●ポール
L-222H・S
ご利用時

■センサの左右角度の設定

・本体を回転させることで、水平感知エリアが左45°右45°調整ができます。（上右図参照）
・本体固定ネジをゆるめて本体を回転させ、水平感知エリア方向を設定してください。
・設定後は本体固定ネジをしっかりと締めつけて固定してください。

◆設定ツマミ

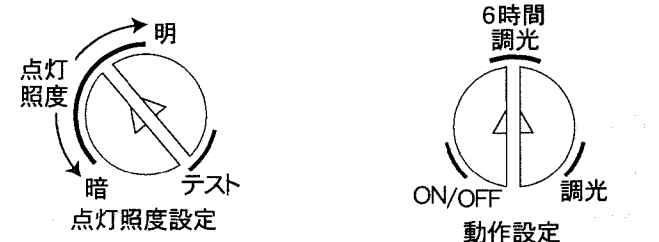
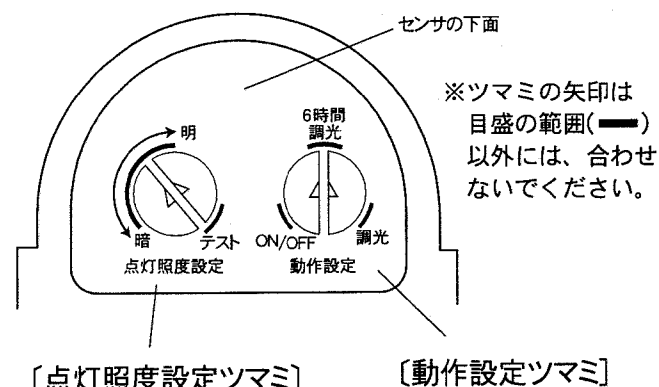
センサの下面に点灯照度設定ツマミと、動作設定ツマミがあります。

※ツマミの矢印は目盛の範囲(▬)以外には、合わせないでください。

〔点灯照度設定ツマミ〕

点灯照度（センサが感知する周囲の明るさ）の設定とテストモードの切りかえができます。

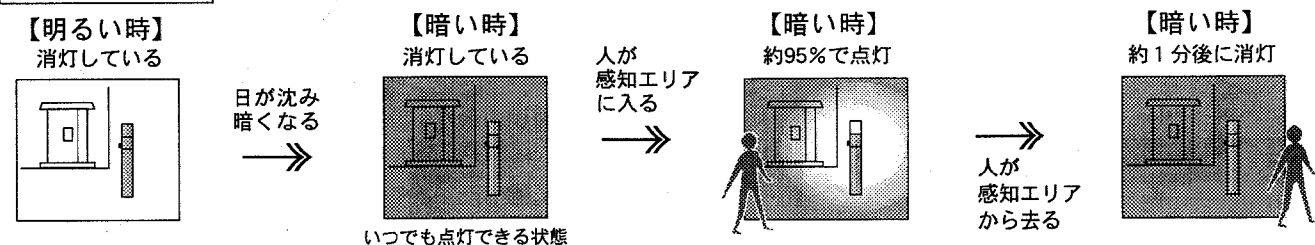
〔動作設定ツマミ〕

ON/OFFモード、調光モード、6時間調光モードのお好みの動作設定ができます。

◆センサの設定

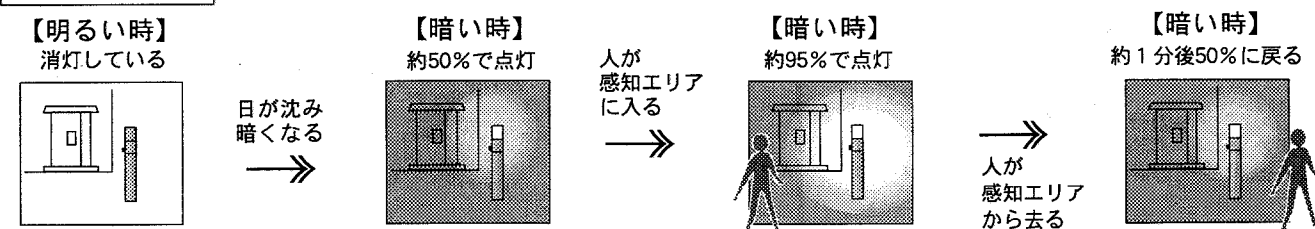
右上図の動作設定ツマミで、ご希望のモードに設定してください。

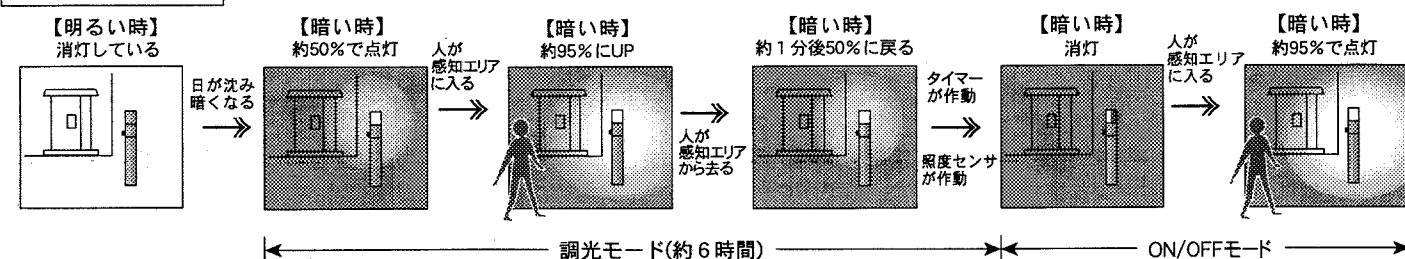
ON/OFFモード

人が感知エリアにはいると95%点灯し、去ると消灯。

【明るい時】消灯している → 日が沈み暗くなる → 【暗い時】消灯している（いつでも点灯できる状態） → 人が感知エリアに入る → 【暗い時】約95%で点灯 → 人が感知エリアから去る → 【暗い時】約1分後に消灯

調光モード

暗い状態で50%点灯し、人が感知エリアにはいると95%点灯し、去ると50%点灯。

【明るい時】消灯している → 日が沈み暗くなる → 【暗い時】約50%で点灯 → 人が感知エリアに入る → 【暗い時】約95%で点灯 → 人が感知エリアから去る → 【暗い時】約1分後50%に戻る

6時間調光モード

壁スイッチを入れてから６時間は上記の「調光モード」、６時間後は「ＯＮ/ＯＦＦモード」。

◆点灯照度の設定

■テストモード

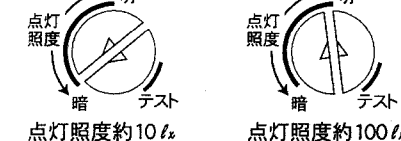
点灯照度設定のツマミをテストモードにすると
○電源投入後、明るい時でも約30秒間、95%点灯しますので、結線及び負荷の作動確認ができます。
○明るい時でも人体を感知するごとに、約５秒間95%点灯します。

壁スイッチを

※感知エリアの確認後は、必ず点灯照度設定ツマミをテストの位置から点灯照度調整位置にしてください。テストの位置では照度センサが作動しないので、動作設定の切りかえができません。

■点灯照度の設定

センサが感知する器具の周囲の明るさを設定します。
点灯照度設定ツマミの「暗」は10ℓx、「明」は100ℓxです。10～100 ℓxの明るさの範囲で感知・点灯するように設定できます。

点灯照度約10ℓx　　点灯照度約100ℓx

※点灯照度は「消灯状態」から「点灯状態」に切りかわる照度です。
「点灯状態」から「消灯状態」に切りかわる照度は、灯具の点灯・消灯の繰り返し防止のため、点灯照度より高い照度で設定しています。点灯照度は器具を取りつけられる周囲の明るさによって設定してください。

◆壁スイッチによる連続点灯の切りかえ

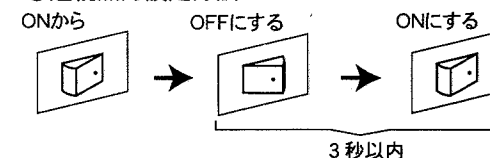
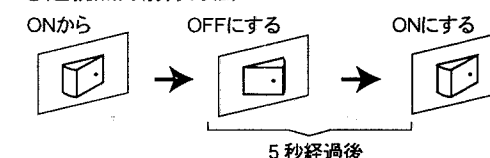
●連続点灯とは、周囲の明るさや人体の感知に関係なく、点灯する状態です。

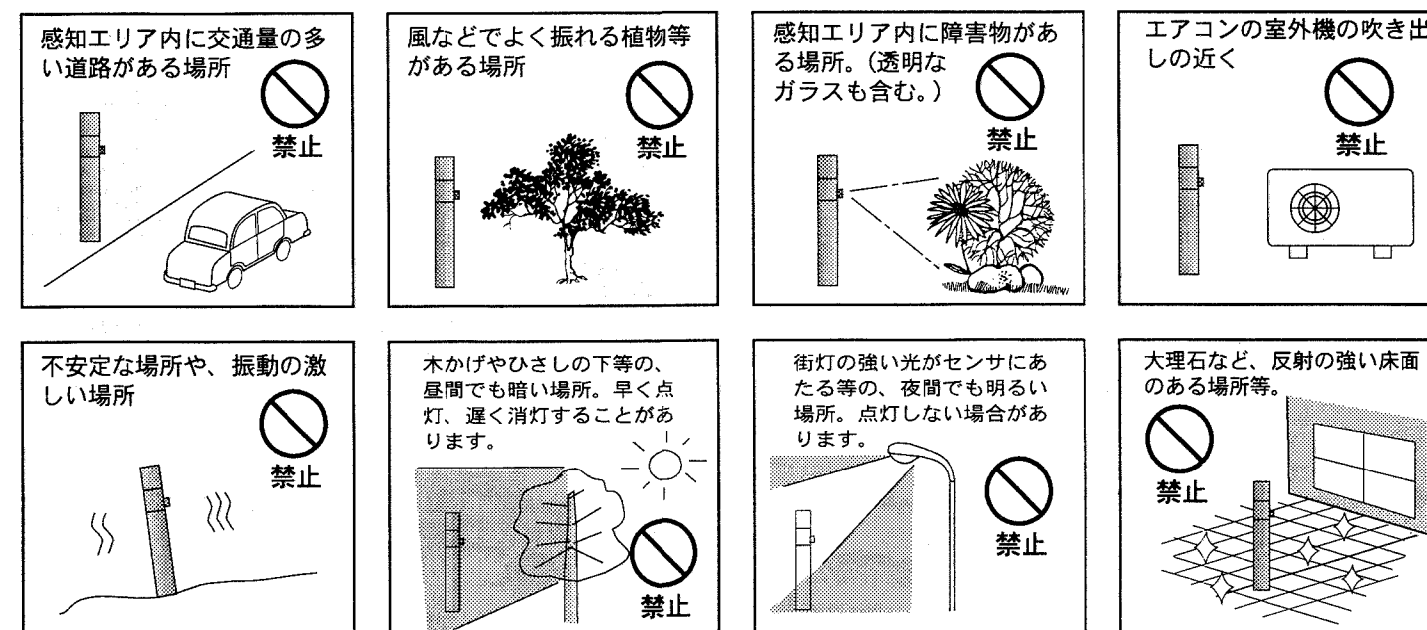
連続点灯設定方法

壁スイッチを「ＯＦＦ」してから３秒以内に「ＯＮ」にすると連続点灯状態になります。連続点灯に切り替え後、約８時間で設定モードに戻ります。連続点灯中に上記と同様の壁スイッチ操作（約３秒以内にOFF→ON）を行った場合は、タイマーがリセットし、その時点から約８時間で設定モードにもどります。

●連続点灯設定方法
ONから → OFFにする → ONにする
３秒以内

連続点灯解除方法

連続点灯状態から設定モードにする場合は、壁スイッチを「OFF」にし、約５秒間以上してから「ON」にしてください。

※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取り付けてください。
壁スイッチをご使用されない場合は、連続点灯に切りかえることはできません。

◆取付場所について　⚠次のような場所に取り付けられると誤作動の原因になります。

●センサ感知エリア内に、車・小動物が入った場合にもセンサが反応して作動することがあります。
●太陽光線の強い光や高い熱、無線などによる電波障害で誤作動することがあります。
●センサの感知エリアは、気象条件によってばらつきがあります。
●ライトコントローラとの併用はできません。
●器具の改造は絶対にしないでください。